

祝 医療法人杏園会 創立70周年



平成28年12月18日、医療法人杏園会は創立70周年を迎えることが出来ました。当法人は昭和21年12月18日、伊藤茂初代理事長が現住所から少し西、六番町一丁目六番地に伊藤医院を開院したことから始まりです。そして、場所をかえ、機能をかえ、名前をかえ、幾度かの存続の危機を乗り越えて現在に至ります。詳しくは創立70周年を記念して発刊致しました『医療法人杏園会創立70周年記念誌』をご覧ください。

記念誌では、『法人沿革』や『理事長回想録』といった当法人の70年の歩みを感じられる記事や、各部署・事業所代表者による『部門紹介』や『数値に見る近年の状況』といった当法人の今を知ることが出来る記事等が掲載されています。写真も沢山掲載していますので、パラパラと眺めるだけでも楽しんで頂けると思います。また、職員の皆様は自分の職場を知る良い機会です。是非ご覧ください。

記念誌は病院外来待合、自販機スペースに置いてあります(職員向けに各部署にも配布してあります)。

地域医療連携室 野々山尚孝



★職員旅行★「飛騨高山」「鳥羽・伊勢」へ行ってきました

11月27日にバス旅行に行きました。今回のバス旅行は、飛騨高山または鳥羽、伊勢と選択ができるなか、私は鳥羽・伊勢に行きました。

行きはバスの中ではお酒を飲み、恒例のビンゴやカラオケを行ないながら、昼食のたのめ海女小屋に向かいました。海女小屋では、現役の海女さんが目の前で焼いた貝類を頂きました。サザエも大きく、量が多かったのでとてもお腹がいっぱいになりました。途中から雨が降り始め、雨の中伊勢神宮を参拝しました。天候が不安定にも関わらず、伊勢神宮・おかげ横丁は観光客

10月30日に飛騨高山のバス旅行に行ってきました。バスの中では、ビンゴ大会が大変盛り上がり楽しかったです。私は、参加賞？の入浴剤を頂きました。飛騨牛食べ放題は5皿もおかわりしお腹いっぱい食べ、翌日は胃もたれすることになり後悔しました。白川村の展望台に到着するまでの道のりでは、細い道なのに大きな観光バスが、車体をこすることなく対向車とすれ違わすりに感動し、運転手さんに「かっこいい！」と伝えたいことを思い出します。バスガイドのお兄さんは氷川きよ

でにぎわっていました。時間が足らず、ゆっくり見て回ることができなかったです。途中高速が渋滞しており、アクアイグニスは短時間の滞在でした。

今回のバス旅行は伊勢神宮・おかげ横丁以外は初めて行きました。天候はあまり良くなかったですが、行ったことのないところに行くことができて、充実した時間を過ごすことができました。

4階B病棟 金丸いぶき



仕事されている方も多い中、旅行に参加させていただき楽しい一日を過ごさせて頂いたことに大変感謝しています。

4階B病棟 久保田久代

第46号 (H28年度 秋冬号)

医療法人 杏園会
熱田リハビリテーション病院
広報委員会

〒456-0058
愛知県名古屋市長久区六番一丁目1番19号
電話 052-682-3077
http://www.kyoenkai.or.jp

医療対応型
特別養護老人ホーム
ひびのファミリー

平成29年4月OPEN予定

認知症について

認知症は、脳の神経細胞が壊れ認知機能に障害が起きる病気です。

認知機能の障害で現れる症状のことを中核症状(認知機能障害)といい、大きく分けて6つの症状があります。

- ①記憶障害
- ②見当識障害
- ③判断力障害
- ④性格の変化
- ⑤高次機能障害(失語・失認・失行)
- ⑥実行機能障害

他に、周辺症状(BPSD)があり、幻覚、妄想、不安などの心理症状、もう一つは、徘徊、暴力暴言、失禁不潔行為など行動障害があります。中核症状は脳の障害が原因であり、必ず現れますが、周辺症状(BPSD)は、中核症状の状態、本人の性格、環境に作用され個々に現れます。

①記憶障害は、ついさっき体験したことを忘れていたり、今までの体験を丸ごと忘れたりする場合があります。

②見当識障害は、月日・時間・今いる場所などの自分がいる場所が分からなくなるということです。

③判断力障害は、判断行動ができなくなることで、⑤高次機能障害の失行とは、体が動くのに、思った通り物事ができない

④性格の変化は、以前と違って、失認とは、使い慣れた道具が使えなくなり、状況が正しく判断することができないことです。

⑥実行機能障害は、計画を立てることや、物をうまく表現することができなくなることです。

認知症はこの6つの症状が基本的なことですが、さまざまな症状が現れます。そのため、認知症とはっきりとわからないこともあります。その時は市や県で相談窓口を開いているので相談してみたいかがでしょうか。

4階A病棟 介護職 林孝治

認知症看護への取り組み ~定期事例検討会の実施~

日本において平成28年の総務省統計局による高齢者(65歳以上)の人口は3千4百16万人と総人口に占める割合は27%です。人口・割合ともに過去最高となっています。

熱田リハビリテーション病院においても、現在入院患者様の約70%以上が高齢者です。さらに入院時から認知症の症状を抱えながら、自宅退院を希望し、自宅退院を希望し、早期の社会復帰を目指した看護の提供をしています。

しかし、認知症の症状から看護される側・する側ともに困難を感じる場面が多くあります。例に挙げると帰宅希望から落ち着きがなく、常にどこかに行こうとする、夜間に不安が増強してしまい眠れず、ベッドから起き上がり転倒してしまうことなどがあります。このような際に看護師は患者様に寄り添い、廊下を付き添い歩き、転倒しないよう対策を立てています。その裏には患者様を想う看護があります。

私は自己の認知症看護における学びの不足を感じていた頃、ユマニチュードの講習会や、認知症看護講習会へ参加することができました。ユマニチュードでは包括的コミュニケーションでは包括的コミュニケーション技法を学び、認知症看護講習会では病態や看護を学びました。その学びから看護部の取り組みとして、看護師を対象として1度認知症事例検討会を開催しています。

事例検討会では認知症の介入困難事例を元に、情報を共有し認知症の患者様であっても患者様を尊重し、安心した生活ができるにはどのような対応が必要かをディスカッションしています。その

中から参加する看護師は経験や看護観の違いから、他の看護師の考えを知ることが出来ます。さらに検討のみならず、学びへ繋がるよう認知症に必要なアセスメント方法・根拠に基づいた知識の伝達から、各病棟で学びを患者様に反映できるように働きかけを行っています。

認知症の看護を行う者として、今後もより良い認知症看護の提供を図れるよう、一歩ずつ進化し続けたいと考えています。

3階病棟 看護師 岡西友香

医療・介護コラム

忘年会 しろくばんの「としわすれ」

皆さんこんにちは。私はデイサービスセンターしろくばんの事務員・西谷です。平成28年2月にこちらに配属されたから、おおよそ1年になりました。

こちらのデイサービスセンターろくばんでは、通われている皆さんに楽しんでいただくため、月に一度、介護スタッフが行事レクリエーションを企画しています。春にはいちご狩りをしに車で郊外まで出かけたり、夏には施設内で夏祭りを催したりと、かなり大掛かりなこともしているんですよ。その中でも、一年の締めくくりに行事が「忘年会」です。今回は、昨年の暮れに催された忘年会の様子を少し



ご紹介いたしますね。忘年会のイメージといえば「飲み」と「食い」です。ろくばんの忘年会でも、色々な種類のジュース、ポテチなどのスナックやラムネ菓子などが机に並びました（もちろんアルコールは出ません、念のため）。そしてそ

の他に軽食のメインは、パンにお好きな味のシヤムなどをつけて召し上がったというように準備しました。普通のパンでは味気ないので、人気のパン屋さんの美味しい食パンを発注して、利用者が召し上がりやすいように職員が切り分けて用意しました。お食事を楽しんでいただきながら、カラオケ大会&ビンゴ大会です。利用者様の元気の歌声を聴いて私たちがスタッフも嬉しくなりました。そしてビンゴ大会ではスタッフが各自で用意したプレゼントが当たるんです。「リーチ」「ビンゴ」の音が飛び交い、かなりの盛り上がりでした。月に一度、皆と一緒に盛り



上げるのでできる行事レクリエーション。事務の私はないかなか参加できる機会がないのですが、利用者様の普段とは違う輝いた表情を見ると、つられて楽しい気持ちになります。これからも利用者様に喜んでいただけるデイサービスになれるよう、スタッフ一丸で取り組んでいきたいと思っています。デイサービスセンターしろくばん 西谷直子

こんにちは。栄養科です。まだまだ寒い冬が続き、空気の乾燥により風邪やインフルエンザを引きやすい季節が続きます。風邪、インフルエンザ予防として食事の見直しを行ってはどうでしょうか？食生活の見直しにより、病気に負けない体作りをしていきましょう。まず、免疫力を低下させる食生活とはどのようなものかチェックしてみましょう。

～免疫力を低下させる食生活～

- ◆食事の時間や回数が不規則
- ◆外食やコンビニ弁当が中心
- ◆野菜・きのこ類・海藻類を取らない
- ◆アルコールを飲む機会が多い
- ◆間食を毎日のように摂取している
- ◆早食い
- ◆肥満が進行している

このような食生活をしていると免疫力の低下につながります。規則正しい生活リズムとバランスの良い食事を摂ることが免疫力の低下を防ぎます。また、免疫力アップの手助けをしてくれる食品はどのようなものがあるか紹介していきます。

食事で強い身体作りを！！

～免疫に関わる栄養素と機能性成分～

- ★タンパク質 筋肉や臓器をつくりホルモンや酵素の原料になる
肉類 魚介類 大豆製品
- ★n-3系脂肪酸 炎症やアレルギーを抑える働きをする作用がある
青魚に含まれるDNA・EPA しそ油やえごま油
- ★ビタミンA 粘膜の状態を良好に保ち細菌感染の予防に役立つ
レバー、うなぎ、緑黄色野菜
- ★ビタミンC 免疫細胞の働きを活性化させる
緑黄色野菜 果物類 芋類
- ★ビタミンE 免疫細胞の活性化とともに活性酸素を中和する作用を持ち、アンチエイジングにも効果的
アーモンド等の種実類 かぼちゃ ひまわり油等の植物油
- ★乳酸菌 免疫機能の大部分をしめる腸内環境改善のため善玉菌の増加に効果的
納豆 チーズ ヨーグルト 味噌 漬物

免疫力アップに効果的で、手軽に作れるスープをご紹介します。生姜と片栗粉でとろみをつけることにより、身体を温めます。朝食におすすめです。

＜ほうれん草と卵のジンジャースープ＞



- ほうれん草 1/2わ
- ウインナー 2本（ベーコンでも可）
- しめじ 1/4株
- しいたけ 1枚
- すりおろししょうが 小さじ2
- 卵 1個
- 洋風だし 300ml
- 水溶き片栗粉 適量

- 【作り方】
1. 洋風だしにウインナー、しめじ、しいたけ、ほうれん草、すりおろし生姜を入れて火を通す。
 2. 水溶き片栗粉でとろみを付けて、卵を入れる。

栄養科 大脇可奈

ご存知ですか？ 介護予防・日常生活支援総合事業 (新しい総合事業)

平成27年度介護保険制度の改正により、名古屋市では、平成28年6月から介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新しい総合事業」といいます。）が開始となりました。

新しい総合事業のポイント

- ①従来は全国一律の基準で提供されてきた、訪問介護・通所介護のサービスについて、多様な生活支援のニーズに地域全体で応えていくため、要支援者及び事業対象者（※②）は、これまでと同様の訪問介護・通所介護のサービスに加え、多様な担い手による新しいサービスを選ぶことができるようになりました。
- ②新しく基本チェックリストによる事業対象者の判定が加わり、事業対象者については、簡易な手続きで、迅速なサービス利用開始が可能となりました。（要支援・要介護認定の場合は、結果通知までに約1ヵ月かかる）
- ③事業対象者も、要支援・要介護の方と同様に、1日1食を限度として、配食サービスの利用ができるようになりました。

当事業所（熱田居宅介護事業所）でも上記内容を含めた相談業務を行っております。

また、元気な高齢者が、身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる「高齢者サロン」や、保健所や福祉会館等で介護予防の知識や活動を学ぶ事業も新しい総合支援事業で行なわれております。

（問い合わせ先：各区の社会福祉協議会）

熱田居宅介護支援事業所 古野眞砂子



編集後記

★来年度も仕事、プライベートともに頑張りたいと思います。 4A病棟 林孝治

★一年間宜しく申し上げます。楽しく読める記事になるように頑張ります。 3階病棟 吉田洋子

★ろくばんスタッフは盛り上げ上手です。行事はどれも楽しいですよ！ デイサービスセンターしろくばん 西谷直子

★春の訪れが待ちどおしい季節です。健康管理をして、きびしい寒さを乗り越えましょう。 熱田居宅介護支援事業所 西村貴子

★4階B病棟 寺谷美貴

★栄養科 大脇可奈

★年度末まであと少し。時のたつのは早いですが、寒さに負けず新しい事にチャレンジして行きたいと思っています。 医事課 岩田豊子

★明けましておめでとございます。まだまだ寒い日は続きますが、健康管理に気をつけていきましょう。 リハビリテーション科 石塚周平

★2階病棟 飯島結希
★薬剤科 才野恭子

★これから通所を盛り上げてゆきたいと思っております。今年度一年、ありがとうございました。 熱田通所レクリエーション 佐藤英子

★息子が水疱瘡、インフルエンザと感染症が連続で発症しました。そして、当然その後私も・・・皆さんは感染予防を心がけ、体調に気を付けてください。 編集長 地域医療連携室 野々山尚孝

